



スポーツ交歓会 モルック

巻頭言

福岡市スポーツ推進委員協議会会長 水崎勉



今年、福岡市で開催される世界水泳をひかえる中、スポーツ推進委員の皆様には、日頃から地域スポーツの推進に、ご尽力されていることに敬意を表します。

スポーツ施策の新たな方向性を示す第3期スポーツ基本計画が昨年3月に策定されました。その中で、「つくる／はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」と新たな3つの視点が盛り込まれました。運動部活動の地域移行、スポーツ共創、及び新しい生活様式にあったスポーツ等、様々な問題が山積みです。

福岡市スポーツ推進委員協議会では、色々なことに柔軟に対応していきたいと思います。これまでの体力測定補助をはじめ、ニュースポーツの体験、障がい者スポーツの理解と普及等内容の充実を図っていきます。ここ3年、コロナの影響で中止や延期していた活動も、徐々に回復してきています。特に福岡国際マラソン2022では推進委員の皆様の協力があり、大会が無事成功できました。本当に協力ありがとうございました。

私事ではありますが、体育指導委員からスポーツ推進委員になり40年を迎えました。そして、福岡市スポーツ推進委員協議会の会長をさせていただいて、10年になります。いい区切りだと思っていますので、スポーツ推進委員を卒業したいと思います。皆様のおかげで、10年の長い間、会長をさせていただきありがとうございました。これからも福岡市スポーツ推進委員協議会が、発展するようスポーツ推進委員の皆様の協力を、よろしくお願ひします。

全国スポーツ推進委員功労者表彰



文部科学大臣表彰 南区 東若久館区 篠原徳弘

この度第63回全国スポーツ推進委員研究協議会滋賀大会において受賞させていただきました。これも東若久校区の住民の皆さんをはじめ公民館職員、自治協議会、南区スポーツ推進委員協議会の仲間とそのOB・OGの諸先輩、福岡市スポーツ推進委員協議会の皆さんと福岡市の事務局関係部局の皆さん、そして何より妻をはじめ家族の協力と尽力のおかげでだと感謝しております。ありがとうございました。今後も本協議会の発展に微力ながら尽くしていくこうと考えております。



30年勤続表彰 東区 青葉館区 横山憲治

この度、全国の30年勤続表彰を受賞し、誠に感慨深い思いで一杯です。

平成4年に福岡市教育委員会より体育指導委員として委嘱されそれから30年、当初はこんなに永く勤められるとは思ってもいませんでしたが、多くの方々のご協力とお導きにより、今日まで続けることができました。今ではスポーツ推進委員と名称も変わりましたが、地域におけるスポーツ振興とそれを通してのコミュニティ創りという目的は変わっていませんので、それに向かい今後とも活動を続けていきたいと、改めて心に誓ったところです。

令和4年度 各種表彰等受賞者一覧

福岡市市民スポーツ 振興奨励賞 (13名)													彰	福岡市スポーツ推進 委員感謝状 (3名)	福岡市スポーツ推進 委員協議会功労者表 彰	福岡県スポーツ推進 委員感謝状 (5名)	九州地区スポーツ推 進委員功労者表彰 (3名)	30年勤続表彰(1名)	文部科学大臣表彰 (1名)	表 彰			
西 区	早 良 区	早 良 区	早 良 区	城 南 区	城 南 区	南 区	中 央 区	中 央 区	博 多 区	東 区	東 区	西 区	東 区	東 区	西 区	東 区	東 区	東 区	南 区	南 区	受 賞 者		
黒田 直美	樋口 光男	森 和弘	中 村 伸二	日 高 政 治	川 瀬 徹	井 上 雅晴	大 石 雄三	櫻 木 裕子	井 上 里美	中 津 留 華 子	平 川 貴 浩	山 田 忠 義	松 尾 美 枝 子	仙 石 豪	中 村 清 郎	原 裕 貴	藤 井 敏 行	津 田 信 太 郎	三 吉 俊 彦	仙 石 浩	藤 井 敏 行	横 山 憲 治	篠 原 徳 弘

令和4年度 福岡市スポーツ推進委員新任者一覧

今 津	福 重	西	大 原	早 隈	城	東 若 久	長 住	西 高 宮	南	小 笠	小 笠	舞 鶴	那 珂 南	博	香 椎 東	東
定 直 誠	平 木 惠	区	吉 田 佳 克	吉 田 直 子	南 区	寺 田 理 恵	大 石 雄 三	大 木 田 祐 治	区	槌 本 章	太 田 誠 一	原 □ 崇	森 崎 成 輝	多 区	眞 子 聰	区

～新任スポーツ推進委員の声～

**質問**

1. あなたがスポーツ推進委員になろうと思ったきっかけは何ですか。
2. あなたがここ数年見てきたスポーツで忘れない印象的な場面はありますか。
3. あなたがスポーツを指導するとき一番心がけたいことは何ですか。
4. あなたがスポーツ推進委員としてチャレンジしたいことは何ですか。

**東区 香椎東館区 真子 聰**

- 
1. 前任者が退任されるとのことで、声をかけて頂き、自分なりに調べて活動に興味を持ったからです。
 2. 春の高校バレー。2021年東福岡高校優勝。
 3. 自分も楽しみ、子ども達、地域の方も楽しんでもらいたい。
 4. ニュースポーツを校区行事に取り入れたい。

博多区 那珂南館区 森崎 成輝

- 
1. 前任者、自治会長からの推薦により。
 2. 東京2020オリンピック 女子バスケットボール 決勝戦のアメリカとの試合です。
 3. 長く続けられるように、無理をさせず、楽しく思ってもらえるように。
 4. ニュースポーツを校区住民の方々へ広めていきたい。

中央区 小笹館区 太田 誠一

- 
1. 体育振興委員として活動をしていく中で、より活動を広げたいと思ったから(建前)。
 2. ラグビーワールドカップ日本大会。日本代表の試合の奮闘もですが、周りの人も含めた応援の一体感。
 3. そのスポーツの魅力を感じるようにエンジョイできるような楽しさを伝えたい。
 4. せっかく委員となったからには、多くの方々と知り合って人間を大きくしたいです。

中央区 小笹館区 梶本 章

- 
1. 正直申しますと校区でなり手がいなかった為に、体振会長をしていたのでその流れになりました。
 2. プロスポーツ野球のロッテ佐々木投手の完全試合。
 3. 分けへだてなく親身になり指導したい。
 4. 現状は申し分けありませんが特にありません。もう少し若ければと思います。

南区 西高宮館区 大木田 祐治

- 
1. 三顧の礼とまでは言わないが、何度もお願いされたから。
 2. 2022ワールドカップの日本×スペイン戦で負けられない試合での2点目逆転シーン。
 3. 笑顔で楽しんでやってもらうこと。
 4. 色々なスポーツを体験したい。

南区 東若久館区 寺田 理恵

- 
1. 前任の方が8月で退任となり、公民館長に声をかけて頂いたことがきっかけです。
 2. その瞬間感動するスポーツはオリンピックやWBC、ワールドカップなど今まで沢山ありましたが場面はなかなか思い出せません。思い出すのは自分の子どもが一生懸命部活に取り組んでいたりスポーツを楽しんでいる姿です。
 3. まずはケガのないように、楽しく、そして、またスポーツをしてみたいと思ってもらえるように声かけができたらと思います。
 4. 特にありません。

城南区 七隈館区 村澤 直子

- 
1. 同じサークル仲間から誘われたこと。
 2. サッカーFIFAワールドカップ、スペイン戦での三苫選手のゴールアシスト。
 3. コミュニケーションをよくとること。
 4. まだ知らないスポーツがあるので、誰でも参加しやすいスポーツを見つけたいです。

早良区 大原館区 吉田 佳克

- 
1. 前任者退任の為、体育振興会会长や公民館長の推薦です。
 2. サッカー日本代表のワールドカップ出場決定試合です。
 3. 楽しいや継続できると感じ、気づいてもらうことです。
 4. 校区住民の方々に楽しいと感じてもらえるスポーツを勧めることです。

西区 福重館区 平木 恵

- 
1. スポーツ推進委員として活躍しようと思ってお受けした。
 2. スポーツを見てたり段取りしたりしていたが、やってみてスポーツの面白さに気が付いた。
 3. 正直深くやってきていない中、楽しく活動できることかな。
 4. 自分の健康や他人の健康を第一として取り組みたい。

西区 今津館区 定直誠

- 
1. 校区スポーツ推進会の委員になり、会長からの勧めにより地域貢献になればと。
 2. サッカーW杯2022の決勝T進出、ボクシング井上尚哉の4団体統一。
 3. 分かりやすいルール説明と楽しみ方。
 4. 自分も知らなかつたニュースポーツの紹介、地域での実践。

第63回全国スポーツ推進委員研究協議会 滋賀大会



城南区 鳥飼館区 鶴池敦子

第65回九州地区スポーツ推進委員研究大会が、大分県大分市のレゾナック武道スポーツセンターで開催された。

一日目は開会式、表彰式、特別講演という流れでした。特別講演は、元パラリンピアの大日方邦子さんの話です。大日方さんは、3歳の時に事故にあい義足の生活となり、高校時代にチェアスキーと出会いパラリンピックを目指すことになったそうです。そして、数々の大会に出場し退くまでに10個のメダルを獲得され、今は一般社団法人日本パラリンピアンズ協会会長として活躍されています。

今回は第3期スポーツ基本計画とパラスポーツの可能性をテーマにパラリンピアンだからこそその観点からパラスポーツの魅力と可能性を話されました。スポーツは障がいの有無にかかわらずできるものであること、スポーツを通して世界が一つになれる世界平和も夢ではないことを感じさせてもらった時間でした。

2日目はシンポジウムでした。コーディネーターとして大分大学教育学部教授の谷口勇一氏が進められました。地域スポーツがめざそうとしているものは、「つくる、はぐくむ」「あつまり、ともにつながる」と言う基調提案を受けて、今でもスポーツ推進委員とうまく関わっている所とそうでないところの差が有るのに自分たちの存在を知ってもらうことから始めて行かなければならない所はスタートラインに立てていない。行政は次々と難問を出してくるのだと感じています。地域もスポーツ推進委員との関わりに戸惑っている所が多いのではと思います。

今回参加して感じたことは、地域が青少年育成に力を入れている所はスポーツ推進委員が関わるべききっかけができる様に感じました。私にとっては、有意義な時間でした。

第58回福岡県スポーツ推進委員研修大会 in 太宰府



「全国スポーツ推進委員研究協議会」に参加して　南区 東若久館区 篠原徳弘

11月17日・18日に滋賀県草津市において第63回全国スポーツ推進委員研究協議会滋賀大会が2,000人と人数制限をしながらも開催されました。

初日は開会式、表彰式のあと、東京2020パラリンピックトライアスロン競技PTS4 銀メダリスト 宇田秀生氏による「今しかできないこと」との演題でエキサイトでユニークな講演があり、実際の銀メダルを触ることができ、素晴らしい体験をしました。

次にスポーツ庁から「運動部活動の地域移行と地域スポーツ環境の整備について」情報提供があり、県の中堅研修会等で最近の話題となっている内容に触れることができました。

その後のシンポジウムは、「わたSHIGA輝く未来をつくる」をテーマに、昨今の状況からスポーツ活動が「不要不急」のものであるかの如く扱われ、個人では心身の健康保持への悪影響や閉塞感のまん延、社会ではスポーツを通じた交流不足による孤独感や疎外感の増加などマイナス面が広がっていたところ、東京2020オリンピック・パラリンピックでの多くの感動等を通してスポーツが私たちの生活や社会に活力を与える等の重要な価値を持つことが再認識され「第3期スポーツ基本計画」以降の新たな時代におけるスポーツ文化の成熟を目指したシンポジストからの提案を受け1日目が終了しました。

最終日は、第1分科会「わたSHIGA輝く未来をはぐくむ」、第2分科会「わたSHIGA輝く未来をともに」をテーマに分科会が開催された。第2分科会では「第3期スポーツ基本計画」では、スポーツをする、みる、さざえることを真に実現できる社会を目指すため、スポーツを「つくる／はぐくむ」、スポーツで「あつまり、ともに、つながる」、スポーツに「誰もがアクセスできる」という新たな視点が盛り込まれた内容からスポーツを軸とした共生社会の実現を目指し、障害の有無にかかわらず楽しめる地域スポーツ環境の整備とスポーツ推進委員の関わりについて、コーディネーターの奥田氏の進行で3つの事例発表をとおして質疑応答を行い、会場全体で討議することができ良い分科会となり、大会のすべての日程を終えることができました。



第65回九州地区全国スポーツ推進委員研究大会 大分大会



第65回 九州地区スポーツ推進委員研究大会 大分大会 令和5年1月28・29日



博多区 御供所館区 末永順司

第58回福岡県スポーツ推進委員研修大会が、12月11日(日) プラム・カルコア太宰府にて427名の参加者とオンライン配信を行うハイブリット開催で行われました。

表彰式では、福岡市から仙石さん田口さん津田さん松尾さん三吉さんの5名の方が長年スポーツ振興に尽力されたとして感謝状が授与されました。「おめでとうございます！」

アトラクションでは、太宰府市オリジナルの介護予防体操「まほろば令和体操」を太宰府出身のタレント岡澤アキラさんと一緒に椅子に座ったまま、会場全体で楽しく体を動かし盛り上りました。続いて、県の特別委員会から「部活動の地域移行について」の報告がありました。これから約3年で地域への完全移行を目指しているが課題が累積している。その中スポーツ推進委員にできることは関係機関との連絡調整・生徒への実技指導・生徒、保護者、地域住民への指導助言とますますコーディネーターとしての役割が重要になってくるとのことでした。最後に「スポーツの未来を語ろう」をテーマに県スポーツ局長 中平さん、女子ソフトボール金メダリスト 藤田さん、県議会議員 井上さん、リオパラリンピックで道下選手のガイドランナーを務められた篠栗町スポーツ推進委員長 堀内さん、県タレント発掘事業15期生で中学3年生 宮崎さんの5名の方によるトークショーが行われました。それぞれの立場から、スポーツの理想像を挙げていただきました。部活動の地域移行にも繋がる「生の声」を聴けたことは、今後スポーツ推進委員としての活動の参考になり、大変充実した研修大会となりました。

中央研修会 前 期

令和 4 年度前期中央研修会、ニュースポーツ研修会

中央区 赤坂館区 小柳芳隆

6 月 4 日（土）、前期中央研修会およびニュースポーツ研修会が東体育館で開催されました。午前、午後の 2 回に分けて、約 160 名が参加しました。

前期中央研修会では、福岡市スポーツ推進課から、「福岡市スポーツ推進計画」の説明があり、今後 10 年間の取り組みや成果指標が示されました。続いて、東区の木村研修委員長から、全国スポーツ推進委員リーダー講習会の報告がありました。

後半は、ニュースポーツ研修会。ふらばーるバレーは、いびつな形をしたボールを使う競技です。思わぬ方向に弾んでいくなど、笑いが絶えませんでした。ディスコンは、表裏が赤と青に塗り分けられたディスクを使って行う、カーリングやボッチャに似た競技です。ラダーゲッターは、ひもの両端に 2 個のゴム玉がついたものを、3 段のはしごを目掛けて投げ、点数を競います。いずれも年齢を問わず誰でも楽しめ、狭いスペースで開催可能です。今後、地域スポーツで活用していくたいと思います。



ふらばーるバレー



ディスコン

中央研修会 後 期

『スポーツをつくる！?』

博多区 冷泉館区 高宮徹

令和 4 年 11 月 26 日（日）、福岡市立南市民センターにおいて、香蘭女子短期大学中村洋子准教授から『スポーツ共創』について講話をしていただきました。

共創とは、“多様な立場の人たちと対話しながら、新しい価値を「共」に「創」り上げていくこと”で、自由な発想の中で「つくって」「遊んで」「共有する」という 3 つのサイクルをみんなで繰り返していくものが『スポーツ共創』とのことです。

スポーツ庁では第 3 期スポーツ基本計画が制定され、「つくる／はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」という新たな 3 つの視点でスポーツの価値を高めるように求めています。福岡市スポーツ推進計画においても、スポーツをする」「みる」「支える」という視点があり、立場の違う三者が集まって考えて「つくる」につなげることで、新たなものが生まれるとの話でした。詳細は、『スポーツ共創ワークブック』を Web で検索してご覧ください。



講師 中村先生



質問・意見



会場

今回の研修を受けて、私も地域の方々と色々なアイデアを出しながら、スポーツをつくることを一緒にやって樂しみたいです。

区別研修会

前 期

2022年6月25日（土）照葉小学校 小アリーナにて 東区前期区別研修会が開催されました。研修内容は、モルックとファミリーバドミントンでしたが、コロナ禍で各大会を開催するにあたってのシュミレーションも兼ねており、入場と同時に消毒、換気の方法からの研修スタートでした。

まずは、ファミリーバドミントンです。個人的には馴染みのある競技で、コート設営から楽しく研修を受けることができました。ただ、ここで戸惑ったのが、使用する用具の消毒でした。ラケットのグリップが滑るのではないか、シャトルのスポンジ部分に水分は駄目なのではないか等々、色々と試させて戴きました。

次に、モルックです。事前に名前を聞いて、全く未知の競技、少しだけネットで予習して当日を迎えました。屋外用の用具にスポンジを巻き付け、室内でも使用可能に手作りしていらっしゃる校区があり、そちらからお借りしたもの。これには脱帽の一言でした。先輩方に指導を受け、楽しい研修を受けることができました。室内用モルックの発売も、待たれるところではないでしょうか。

新型コロナと闘いながら、と言う時期から、新型コロナと向かい合いながら、と言う時期になってしまった今、競技ルール等だけでなく、運営全体の研修ができたことは、良かったと思いました。この研修内容を校区に持ち帰り校区の人たちと一緒に楽しいことができればと思います。普通の生活が、普通におくれて、普通にスポーツを楽しめる日が早く来て欲しいと思った研修会でした。

東区 多々良館区 浦 山 勝 伸



ファミリーバドミントン



手づくりの屋内用モルック

区別研修会

後 期

令和5年2月23日、福浜小学校において、中央区後期区別研修を実施しました。

前半はモルック。将来的に校区大会や中央区大会を実施することを想定して、チーム編成や対戦形式、時間管理など、大会を運営する上で整理すべき課題を洗い出していきました。モルックはルールも簡単で、年齢、性別、体力を問わず、誰でも気軽に楽しめる競技ですので、大会ルールをしっかりと整備して、地域に展開していきたいです。



ドッヂビー

中央区 警固館区 柴 田 修



モルック

後半はドッヂビー。ディスクを2枚使ったドッヂボールに似た競技で、スピーディーな試合運びなので、審判の力量が問われます。コロナでここ数年中央区大会が開催できていないので、試合運びを中心にルールなど再確認しました。

令和5年度は、アフターコロナで活動も再開しますので、研修で得た知見を地域スポーツの場で発揮していきたいと思います。

区別研修会一覧

【前期】

区	開催日	会場	内容・研修課題等
東	6月25日（土）	照葉小中学校	ニュースポーツを学ぶ＆コロナ禍での予防・対応・対策について（ファミリーバドミントン・モルック）
博多	—	—	中止
中央	7月24日（日）	南当仁小学校	ドッヂビー審判講習会とモルックのルール等を学ぶ
南	9月4日（日）	東若久小学校	バスタボー講習会
城南	9月26日（月）	鳥飼小学校	モルック審判講習会
早良	6月11日（土）	早良体育館	レク式体力チェック
西	6月18日（土）	姪北小学校	ニュースポーツ研修会（室内ペタンク・ラダーゲッター・ボッチャ）

【後期】

区	開催日	会場	内容・研修課題等
東	2月11日（土）	青葉小学校	体力測定・ニュースポーツ研修
博多	2月12日（日）	博多体育館	ニュースポーツ研修会（ふらばーるバレー・モルック）
中央	2月23日（木）	福浜小学校	モルック・ドッヂビーの審判講習
南	3月4日（土）	玉川公民館	第11回南区バスタボー大会事前打ち合わせ及びルール確認
城南	2月5日（日）	堤丘公民館	高齢者の健康づくり
早良	3月4日（土）	早良体育館	ケガの予防とその実施についてストレッチ・コンディショニング・テーピングについて
西	2月4日（土）	姪北小学校	ニュースポーツ研修会（ふらばーるバレー・ファミリーバドミントン）

スポーツ交歓会を終えて

南区 筑紫丘館区 深川典保

前回のスポーツ交歓会から、新型コロナウイルスによる2カ年の開催中止を経て、実に3年ぶりの開催となりました。

感染拡大による中止も想定しながらの計画となりましたが、今年こそはとの想いで、南区スポーツ推進委員一同、計画してまいりました。

今回は、感染対策の上でも屋外を舞台にし、大自然のマイナスイオンもたっぷり感じていただきたく、油山市民の森での開催とさせていただきました。

スポーツ交歓会の種目としましては『モルック』といたしましたが、せっかくの大自然・油山市民の森での開催ですので、モルックの前に山歩き



モルック前の山歩き

を楽しんでいただくことにしました。

開催の前週には、南区有志による事前下見も行い、皆様が安全に楽しんでいただけるよう準備もいたしました。

当日は、130名程の方にお集まりいただき、天気にも恵まれ、清々しい環境の中、山歩きやモルックを楽しんでいただけたと思います。

今回、3年ぶりの開催となりましたが、皆様のチームワークやスポーツ推進委員の活気をあらためて感じられた一日だったかと思います。



モルック

ニュースポーツ研修会

午 前

早良区 有田館区 原 田 一 夫

7月10日に鴻臚館広場でニュースポーツ研修会が開催されました。今回はじめて外での開催だったので、とても暑かったです。研修種目は、スロージョギング・グラウンドゴルフ・ペタンク・モルック。ペタンクとグラウンドゴルフは、したことがあったけど、スロージョギングとモルックははじめました。スロージョギングは、歩くより遅いスピードで走る？みたいな感じだった？なかなか理解できなかったけど、やっているうちにだんだんわかってきた？（笑）と思います。でも当日は、天気も良く猛暑日だったので、担当した区の指導員さんは本当にお疲れさまでした。参加した人たちも暑い中お疲れ様でした。外での研修はよかったです、暑い時は、できれば室内でお願いします。またこういう研修がある時は、また、参加したいと思います。



準備運動



講師の先生方



スロージョギング 森で指導

午 後

中央区 平尾館区 前 田 賢 二

令和4年7月10日（日）、午前中のスロージョギング講習会に引き続き、同日午後、本年度2回目となるニュースポーツ研修会が開催されました。

真夏の屋外での研修会となりましたので、感染症対策とともに、テントの設置や定期的な給水など、熱中症対策にも十分配慮しての開催となりました。

ペタンク（西区担当）、モルック（東区担当）、グラウンドゴルフ（南区担当）の3種目を50分ごとにローテーションしながら体験、いずれの種目もわかりやすい競技で、初めて体験する人もすぐに楽しめるものでした。

子ども達の体力の低下や高齢化の進展など、スポーツとのかかわり方が変わりつつあります。年齢を問わず、誰もが気楽にできるニュースポーツを、私たちスポーツ推進委員が広めていくことで、スポーツを楽しむ人が増えていけばと思います。



モルック



ペタンク



グラウンドゴルフ

バスタボーカンペーン市大会

9月25日開催

バスタボーカンペーンに参加して 東区 和白東館区 平川岳人

皆さん、「バスタボー」をご存じだろうか。福岡市南区で生まれたこの競技をご存知の方に簡潔に説明すると「バスタオルの端を持った2人×2ペア制のバレー」です。考へてもみてください。只でさえ安定しないタオルの上で跳ねる安定しない球体のことを。この不確定さこそがバスタボーの醍醐味。まずはサービス時に起こる「何処に飛んでゆくか分からぬ」不確定さ。それをレシーブする側はタオルで「縛られて」いるのだから、さあ大変。次に、2人でボールを飛ばす時に、タオルの握り具合で張っ



たり緩んだりの息を合わせる難しさ。動きの指示を出すベンチワークも必要か。更に、ペア間の体格差で不確定さが増すので、優勝チームは身長を揃えていた様だ。他にもまだこの誌面上だけでは伝えきれない魅力を秘めた「バスタボー」。この良さは食べんと……いや試さんと分からん(笑)。



卓球バレー講習会

卓球バレー研修

城南区 別府館区 岡本恭子



7月10日(日)、さんさんプラザにて、午前中から卓球バレー審判講習会に参加しました。私がスポーツ推進委員になつてすぐコロナ禍となり、十分な研修を受ける機会がなかったのでこれはチャンスだ!と直ぐに参加に手を上げました。

しかし、事前に卓球バレーについて調べると自分にできるだろうかと不安が強くなり、更に当日集まられた他の区のベテラン推進委員の方々の表情に不安が募りました。が、その日の午

後の試合に向けて座学と実際にプレーをすることで、不安から興味に惹かれ、卓球バレーの楽しさを知ることができました。その後、午後の試合の審判の補助で動くときにはベテラン審判員さんの冷静な判断や選手へのアドバイスを見て、そして、試合中の判定で疑問なことはお聞きし、教えていただき、午前中の座学やプレーでは気が付かなかつた審判員としての目配り、気配りを学ぶことができました。また、他のスポーツ推進委員の方とも試合を見ながら審判目線で選手の動きを会話することで益々、卓球バレーの虜となりました。

今は時間もたち、ルールも少し忘れかかっています。また機会があれば、この講習会に参加したいと願います。



校 区 訪 問



市場跡地に立った病院と公園



百道浜周辺

石丸校区は、校区の中央に名柄川、西には十郎川の二つの河川が流れ、また、校区東側には姪浜大通り、中央には外環状道路がそれぞれ南北に、東側には国道202号線が東西に走っています。

校区内には戸建て住宅が立地し比較的最近になって建設されたマンションが立地しています。幹線道路沿いには、歩道整備と街路樹の植栽もなされており、ゆっくりと歩くことができる環境となっています。校区内にあった西部市場跡地には長年の校区住民の要望であった石丸中央公園が設置され、さらなる生活環境向上が図られます。

市場跡地に立った病院と公園

百道浜校区は早良区の最北端にあり、海と川に面した校区です。海岸にはロケーションが素晴らしい百道浜海浜公園があります。観光だけではなく、ブライダルフォトなどの写真撮影によく利用されています。夏は海水浴場になったり、様々なスポーツやライブなどのイベントも開催されています。

シンボルマークでもある福岡タワーがあり、テレビ局も数社あります。テレビはもちろん、その他のメディアでも百道浜の景観をよく目にされるのではないでしょうか。福岡タワーのレストランでは、市内を一望しながら食事ができます。電線が地中化されており、空が綺麗な街です。

総合図書館と博物館があります。また、所々に万博の時のモニュメントが残っており、歩いていると目にすることがあります。

百道浜に来られた際には、お散歩のついでに様々な知に触れてみてはいかがでしょうか。



幼児の体力測定

南区 東若久館区 加納美和

8月27日（土）に、スポーツ体験塾の体力測定会が福岡市民体育館で開催されました。

コロナ禍の中、会場設営においては参加者スタッフ・道具の消毒や換気に留意し、開場を待ちました。開場と共に親子連れや高齢者の方々が、次々と入ってこられました。女性委員の私たちは、幼児の体力測定を担当しました。



両足連続跳び越し

立ち幅跳び・体支持持続時間・両足連続跳び越し・長座体前屈を測定しました。不安がらないように優しく声かけし、測定前に手本を見せてわかりやすく説明しました。楽しみながらを一番に考えての測定です。保護者の方・兄弟と一緒にだからか、誰一人として嫌がったり泣いたりする子もおらず、笑顔がありました。

コロナ・熱中症で益々全体的に運動不足が懸念される中、親子で一緒に身体を動かすことの楽しさ、習慣的に身体を動かすことの大切さを知るきっかけとなる体力測定会であったと思います。

お父さんお母さんの前で頑張っている子ども達の顔は、とても愛らしかったです。



立ち幅跳び



長座体前屈



体支持持続時間

編集後記

広報委員長 佐々木一人

今年度は、約3年間蔓延したコロナも収束し、5月よりインフルエンザ並の5類感染症に分類される予定である。今後スポーツ活動も活発に行われると思われる。一方、個人的には完全退職して年金生活に入ったが、コロナ感染より厄介な難病を患い30年ぶりの入院生活を強いられた。障がいがある方の苦悩も理解でき、今後はパラスポーツにも力を入れたいと思う。

また、スポーツではサッカーワールドカップで盛り上がったが、反面安倍晋三氏の訃報は世界中に衝撃を与えた年であった。3月のWBC優勝を祈り、次年度の世界水泳の成功裏を願いつつ、次号に向けて広報委員の皆さんとまた編集会議で議論を重ねたいと思う。

最後に、広報誌に投稿下さった皆様、広報委員の皆様および事務局としてお世話になった福岡市の藤原さん、吉村係長、平山課長ならびに、今年で退任される曾根事務局長には感謝致します。

広報委員：加藤光男・末永順司・柴田修・佐藤浩一・厚石千鶴子・津野崎雄二・松本清

福岡市民の皆様それぞれの
ライフスタイルに応じて、
スポーツが楽しめますよう、
職務に励んでまいります。
よろしくお願ひ
いたします。

重松和浩



皆さんの支えの中、楽
しく仕事をすることができます。特に鴻臚館での野外研修は心に
残りました。
お世話になりました。

曾根徹



福岡市スポーツ推進委員だより 第82号

発行日 令和5年4月1日

発行者 福岡市スポーツ推進委員協議会

〒810-8620 中央区天神1-8-1

(福岡市役所スポーツ推進課内)

発行責任者 広報委員長 佐々木一人

印 刷 大商印刷株式会社